白方小学校だより

白 方 の 風

令和７年度
№１９
東海村立白方小学校
2025.9.12
児童数 451 人

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで健やかに生きる児童の育成

夏休みが終わり２週間が過ぎました。暑さも徐々にやわらいできています。しかし、日差しがある中の登下校時は、水分補給がまだ必要な状況かと存じます。水筒のご準備、汗をかいた後の服の洗濯など大変お世話になりありがとうございます。また、感染症も広がっている地域もあることから、外で遊んだ後のうがい、手洗い、食事前の手指消毒など、感染防止対策を実施しております。ご家庭におかれましてもお声かけをお願いできればと存じます。

元気いっぱいにあいさつができています。
～　日本一あいさつが響き渡る学校へ。　～

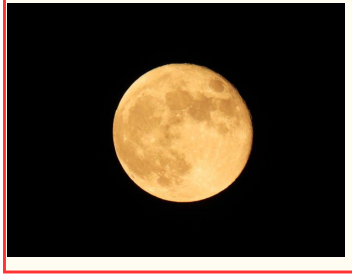
児童会の代表委員会、福祉委員会の皆さんで毎朝、校門を入ったところであいさつ運動を実施しています。「日本一あいさつが響き渡る学校」のスローガンのもと、５、６年生が先頭に立ってさわやかなあいさつを心がけています。１～４年生も次第に、仲間と顔を合わせる度に自分からあいさつをするようになっています。

人類が進化してきた過程の中で、言葉は、危険を知らせるためにとても役立ちました。大昔に人類の祖先がいた時代には、言葉によるコミュニケーションがうまくできるグループの方が生存率が高かったのではないかと言われています。あいさつも同じように、相手に自分は安全な存在であるといったことを伝える言葉の１つではないかと思います。つまり、あいさつは自分のためにするもので、自分を守る大きな役割があると考えています。見知らぬ人に会った際にも、あいさつをすることで、自分は危険な存在ではないと知らせることができます。また、あいさつをすることで自分に活力がわき、元気になり、気持ちがさわやかになるのではないでしょうか。そんなあいさつが響き渡る学校になるといいなと思います。

【髪色について（お願い）】

夏季休業明けに、髪を染色した児童が見受けられました。ご事情があり染めた場合、本人の意向で染めた場合などがあるかと存じます。昨年度も「白方小よい子のきまり」の「体育の学習」の項目中に、「髪留めや髪飾りは派手なものでなく（黒・茶・紺など）、運動のじゃまにならないものにしましょう。」というものがあり、運動をする際の安全を確保するといった理由と共に、みんなが学習に集中して取り組めるようにするため、公的な場で派手な装飾等を指摘され支障をきたさないためといった理由があることを記載いたしました。様々なご事情があり髪を染める場合もあるかと存じますが、特に支障がない場合は、学校の学習に集中して取り組めるよう、及び就職の際の面接や公的な場で支障をきたすことがないよう、**自分でTPOに応じて身だしなみを適切に判断できる力を培いたい**と存じており、学校では生来の髪色にしていただければ幸いに存じます。※特別なご事情がある場合はご相談いただければと存じます。

東海村立白方小学校　菊地　義光

中秋の名月
～　月が美しく見えます。　～

「月を眺めて、お団子を食べる。」今の日本ではそんなイメージが浸透している中秋の名月ですが、もとは中国の風習です。日本へは平安時代に伝わったとされています。中秋とは旧暦の8月15日を指します。旧暦では７～９月を秋としているため、８月15日はちょうど秋の真ん中となります。また、その頃は１年を通して最も月が美しい時期であるとされます。なぜ昔から秋の月は美しいといわれるのか。それは、秋の空気と月の適度な高さが関係しているといわれています。秋の空気は、水分量が春や夏に比べて少なく乾燥しています。そのため澄んだ空気が月をくっきりと夜空に映し出すのです。さらに、月は冬に近づくほど空の高い位置を通ります。空気の水分量、大気の状況や月の高さなど月が最も美しく見える条件が揃う秋こそ、月見にふさわしいといわれてきたということです。今年の**中秋の名月は10月6日です。**